

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年10月29日

上場会社名 株式会社 ココカラファイン ホールディングス
 コード番号 3098 URL <http://www.cocokarafine.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 厚志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 鈴木 芳孝
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月13日

上場取引所 東

TEL 042-368-8746

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
21年3月期第2四半期	80,249	—	1,799	—	3,453	—	1,921	—
20年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	96.47	—
20年3月期第2四半期	—	—

(注) 当社グループは、平成20年4月1日設立のため、前年同四半期の数字及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	％	円 銭	円 銭	
21年3月期第2四半期	74,327	—	40,877	—	55.0	—	2,052.59	
20年3月期	—	—	—	—	—	—	—	

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 40,877百万円 20年3月期 一百万円

(注) 当社グループは、平成20年4月1日設立のため、前期実績及び前期増減率は記載しておりません。

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	174,020	—	6,140	—	9,010	—	4,930	—	247.51

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注) 詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 19,922,156株 20年3月期 一株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 6,938株 20年3月期 一株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 19,916,793株 20年3月期第2四半期 一株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期におけるわが国の経済は、原油高・原材料のコスト高、サブプライムローン問題に端を発した世界的な金融不安により、企業収益の悪化が見られ景気は後退局面となりました。経済環境の変調が想定される中、小売業におきましても、ガソリンや食料品を中心とした値上げラッシュや、中国製食品への不信感、将来の不安等により、消費マインドは低下しております。

当社の属するドラッグストア業界におきましては、オーバーストア現象（商圏下、需要より供給が過剰になるほど店舗数が増加する現象）等により、価格競争が激しさを増し、厳しい状況が続いております。M&Aや資本・業務提携等の業界再編が加速される中、生き残りのため企業独自の差異化戦略が必要不可欠になってまいりました。

このような状況下、株式会社セイジョー（以下「セイジョー」という）とセガミメディクス株式会社（以下「セガミ」という）は平成20年4月1日に経営統合し、株式会社ココカラファインホールディングス（以下「ココカラファインHD」という）を設立いたしました。

統合後の活動実績といたしましては、商品施策運営の統一を行なうため、セガミ・セイジョー両事業会社の仕入部門をココカラファインHDへ一本化した運営を開始し、商品販売戦略の強化を推進しております。営業部門におきましては、店舗運営・販売促進・売場提案・売価決定の手法を中心に、営業ナレッジ（ノウハウや知識）を組織的に共有し高次元化を進めることによって、営業力強化を図っております。また、管理部門におきましても会計システムを統一化したほか、人事評価・給与体系・教育等多岐にわたる将来に向けての人事関連制度の統一化、両社のシステム環境を評価し次世代に向けた情報システムの高度化を図るなど、経営管理に関わる様々な事項にも着手しております。

出退店につきましては、新規23店舗を出店し、不採算店17店舗を閉店いたしました結果、当該四半期末の店舗数は以下のとおり632店舗（内調剤取扱111店舗）となりました。

当第2四半期（累計）の業績は、個人消費の陰りや関東・九州における天候不順の影響を受けましたが、経営統合により地域別に互いを補完し合う効果と相俟って、売上高80,249百万円、営業利益1,799百万円、経常利益3,453百万円、四半期純利益1,921百万円となりました。

出退店状況

（単位：店）

	セガミ	セイジョー	合計
期首店舗数	355	271	626
（内調剤取扱）	(61)	(48)	(109)
出店	13	10	23
（内調剤取扱）	(1)	(2)	(3)
閉店	12	5	17
（内調剤取扱）	(-)	(1)	(1)
第2四半期末店舗数	356	276	632
（内調剤取扱）	(62)	(49)	(111)

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末の総資産は、74,327百万円でしたが、そのうち流動資産は、38,573百万円、固定資産は35,754百万円となりました。これに対する当第2四半期末の負債合計は、33,449百万円でしたが、そのうち流動負債は25,232百万円、固定負債は8,217百万円となりました。

当第2四半期末の純資産は、40,877百万円で、自己資本比率は55.0%となりました。また、1株当たり純資産は2,052円59銭となりました。

なお、当社グループは、当第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、前連結会計期間末との対比の記載はしていません。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は9,245百万円となりました。当第2四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金は、54百万円の増加となりました。

これは、税金等調整前四半期純利益が3,062百万円に対して、主な増加要因として非資金費用である減価償却費及びその他の償却費の計上が961百万円あったものの、減少要因としてたな卸資産の増加が1,117百万円、仕入債務の減少が1,027百万円、法人税等の支払額が1,491百万円あったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金は、1,342百万円の減少となりました。

これは主として新規出店等による有形固定資産の取得による支出1,056百万円、敷金及び保証金の差入による支出699百万円があったものの、増加要因として定期預金の払戻による収入513百万円があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金は、184百万円の減少となりました。

これは主として、配当金の支払額674百万円等があったものの、短期借入金の増加による500百万円の収入があったことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年8月29日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表しているとおり、平成20年7月29日の第1四半期決算短信発表時に公表した平成21年3月期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）の通期業績予想を修正しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、見積実効税率を使用できない場合には、税引前四半期純利益に法定実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更： 無

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	8,469
売掛金	3,084
有価証券	800
商品	20,793
その他	5,431
貸倒引当金	△4
流動資産合計	38,573
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	7,663
土地	9,039
その他(純額)	1,554
有形固定資産合計	18,257
無形固定資産	
のれん	426
その他	1,265
無形固定資産合計	1,691
投資その他の資産	
敷金及び保証金	13,457
その他	2,535
貸倒引当金	△187
投資その他の資産合計	15,805
固定資産合計	35,754
資産合計	74,327

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間末
(平成20年9月30日)

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	16,051
短期借入金	1,700
1年内償還予定の社債	120
未払法人税等	1,265
賞与引当金	831
ポイント引当金	753
その他	4,510
流動負債合計	25,232
固定負債	
社債	10
退職給付引当金	2,273
負ののれん	5,251
その他	682
固定負債合計	8,217
負債合計	33,449
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,000
資本剰余金	24,980
利益剰余金	14,795
自己株式	△13
株主資本合計	40,763
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	114
評価・換算差額等合計	114
純資産合計	40,877
負債純資産合計	74,327

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	80,249
売上原価	57,455
売上総利益	22,793
販売費及び一般管理費	20,993
営業利益	1,799
営業外収益	
負ののれん償却額	583
その他	1,159
営業外収益合計	1,742
営業外費用	
上場関連費用	25
その他	62
営業外費用合計	88
経常利益	3,453
特別利益	
貸倒引当金戻入額	0
ゴルフ会員権売却益	0
特別利益合計	1
特別損失	
固定資産除却損	49
店舗閉鎖損失	38
賃貸借契約解約損	73
減損損失	158
過年度ポイント引当金繰入額	63
その他	9
特別損失合計	392
税金等調整前四半期純利益	3,062
法人税等	1,141
四半期純利益	1,921

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	3,062
減価償却費及びその他の償却費	961
減損損失	158
のれん及び負ののれん償却額	△541
引当金の増減額(△は減少)	114
受取利息及び受取配当金	△33
支払利息	12
固定資産受贈益	△124
固定資産除却損	49
店舗閉鎖損失及び賃貸借契約解約損	111
売上債権の増減額(△は増加)	123
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,117
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,027
その他	△208
小計	1,539
利息及び配当金の受取額	18
利息の支払額	△12
法人税等の支払額	△1,491
営業活動によるキャッシュ・フロー	54
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△13
定期預金の払戻による収入	513
有形固定資産の取得による支出	△1,056
敷金及び保証金の差入による支出	△699
敷金及び保証金の回収による収入	223
その他	△309
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,342
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	500
社債の償還による支出	△10
配当金の支払額	△674
財務活動によるキャッシュ・フロー	△184
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,472
現金及び現金同等物の期首残高	3,097
株式移転による現金及び現金同等物の増加額	7,620
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,245

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結会計期間（自平成20年7月1日 至平成20年9月30日）

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

（単位：百万円）

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前期末残高	3,958	4,315	13,547	△0	21,820
当第2四半期末までの変動額					
株式移転による変動額	△2,958	20,665			17,707
剰余金の配当			△673		△673
四半期純利益			1,921		1,921
自己株式の取得				△12	△12
当第2四半期末までの変動額合計	△2,958	20,665	1,247	△12	18,942
当第2四半期末残高	1,000	24,980	14,795	△13	40,763

(注) 株式会社ココカラファイン ホールディングスは、平成20年4月1日付けで株式会社セイジョーとセガミメディクス株式会社の共同持株会社として設立しております。

なお、当第2四半期連結財務諸表は、完全子会社となった株式会社セイジョーの財務諸表を引き継ぎ、期首に設立したものとみなして作成しております。